

2016年5月15日

第6号

子どもに夢を！たくましく豊かな創造性を！

すくらんぶる

NPO法人 長崎県子ども劇場連絡会 NEWS LETTER

最新情報

6. 10
定期総会
中島研講演会

6. 13
組織運営学習会(ながさき)

7. 15～7. 30
第21回長崎県
子ども舞台芸術祭典

組織運営学習会

県内の子ども劇場代表者が年に数回集まり、地域の子どものことや、活動、組織の課題などを話し合い、共有する会議を開いています。その中で、「劇場の組織運営について自分たち自身の思いや活動を整理し、これからの劇場をどう運営していくか学び合う場をつくらう」という意見がでたことで、ワークショップ形式で組織運営学習会をする事になりました。当団体の中山理事が、川北秀人氏著の「組織を育てる12のチカラ」を参考にしてファシリテーターをつとめました。

第1回は、9月2日に「組織課題(現象、状況)から原因、背景を見出し、対策までを考える」。第2回は、ファシリテーターが各地におもむき、11月11日はさみ子ども劇場、11月20日諫早子ども劇場、12月1日ながさき子ども劇場、それぞれの組織運営の中心者を対象に、「誰のため、何のため子ども劇場？(公益性と非営利性を再確認する)」を目的に行いました。第3回は、3月15日佐世保子ども劇場、3月16日ながさき子ども劇場と諫早子ども劇場の3団体が参加し県内2か所で開催しました。「思いから目的・目標を選ぶ、どんな活動をどのように展開するの？いつまでに、どこまで実現するの？」というテーマは、日常の活動を忙しさの中でやり続けている地域の子どもの劇場にとって、目的や目標をきちんと据えることの大切さを気づくことになりました。

会員減少や、担い手不足など、行き詰まり感のある組織運営に突破口を見つけるためにも、自分たちの組織が何者かを確認するという根本的などころから始めました。その結果、組織運営についてあらためて深く考え合う良い機会になりました。また、ワークショップを重ねていく中で、そもそも組織とは何なのかという基本の部分からの学習の必要性も感じました。

ワークショップ自体あまり経験がない人もいましたが、参加者が意見やアイデアを出し合い考え合う、その中に気づきが生まれるというワークショップ形式でやる良さ、また「活動をつくり合う楽しさや主体的に関わる空気が生まれる」という感想もあり、今後の継続開催や子育て中の親を対象にしたワークショップなど別の視点での開催の希望も出ています。



ひとりひとりの意見や
アイデアが
新しい気づきを引き出す



第18回長崎県子どもと文化フェスティバル in 佐世保

2016年2月14日(日) アルカスSASEBOイベントホール

子どもたちの表現活動を応援しようと毎年開催している『長崎県子どもと文化フェスティバル』。今回は「佐世保子ども劇場」創立45周年を記念して、私の地元である佐世保での開催でした。

当日、ロビーには来場者に子ども劇場の活動を知ってもらうために、それぞれの子ども劇場の活動のパネル展示を行いました。「観る」ことが大好きな私たちですが、「子どもと文化フェスティバル」では舞台上上がり、表現することを乐みます。各劇場紹介スライドショーから始まり、オープニングではよさこいチーム「青嵐」の迫力のある演舞。可愛らしい乳幼児の劇や、小学生の朗読劇。青年や大人も一緒にダンスをしたり、歌を歌ったり、演奏をしたり、人形劇など、様々なジャンルの出演が続きました。そして、最後のエンディングでは県内の高学年・中学生・青年が集まり『風になりたい』を歌い、会場がひとつになりました。

昨年の4月から長崎県内の青年が集まり実行委員会を立ち上げ、話し合いを重ねてきました。当日も青年が、舞台進行や司会など運営の立場で関わり、県内青年のつながりへと発展しています。たくさんの協賛・広告や助成金など、県内外の方々の協力もあり、無事にこの事業を終えることができました。本番を迎えるまで支えてくださった皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。

4月に行ったまとめの会では、「練習で絆が強くなった」、「みんなの意見を出し合い、最後の最後まで構成を考えた。」という声も聞かれ、来年度に向けての意見もたくさん出ていました。今後も長崎県内の劇場で力を合わせ、様々な活動に取り組み、多くの方に子ども劇場のことを知ってもらいたいと思います。

県フェス実行委員長 高橋 あゆみ

第18回長崎県子どもと文化フェスティバル in 佐世保

2016年 2月14日(日) アルカスSASEBO イベントホール 13:00~15:30 (12:45開場)

主催 県庁(大人会場)子ども劇場協賛校 共催 県庁(子ども会場) 後援 県庁(子ども会場) 協賛校 共催校 協賛校 共催校 協賛校 共催校

■佐世保子ども劇場

佐世保子ども劇場創立45周年の記念事業でもある、第18回長崎県子どもと文化フェスティバルに大勢の皆様が佐世保へ来ていただき有難うございました。

初めて県フェスに参加した人々も、内容や表現力の豊かさ、異年齢の交流がある事等、子ども劇場ならではの良さに感動していました。佐世保は開催地ということもあり、3つの演目にチャレンジし、練習の過程で、大人同士も子ども同士もぐんと仲良くなったことが一番の収穫です。また、練習ではのんびりだった子どもたちが、本番ではしっかりと本気を出しみんなで達成感を味わうことができました。エンディングのコーラスや事後の交流会に小4から参加し、県内のみなさんと交流できたことも良かったです。

多くの方がチケットを購入して観に来てくださり、オープニングに出演していただいた「青嵐」のメンバーだけでなく、地域の皆さんに県フェスの良さを知っていただく機会になったことに感謝の気持ちでいっぱいです。佐世保子ども劇場にとっても実り多いものとなり既に、来年の演目について夢が広がっています。

■壱岐子ども劇場

今年は、太鼓と竹楽器の演奏で参加しました。子どもたちの珍道中は、電車の中も昭和の香りのする旅館でも、まるで修学旅行のような賑やかさ。当日は、進学で壱岐を離れた高校生と、転勤で壱岐を離れた元会員親子との再会がありました。熱気あふれる舞台裏で楽器の梱包を解き、セッティング、リハーサル。子どもの1人が発熱というハプニングも起こりましたが、おでこに冷えピタを貼って一生懸命リハーサルを続ける姿に心打たれました。記録係の私も、右手にスマホで写真を撮りつつ、左手にタブレットで動画を撮るといふ荒技でがんばりました。『なにかやろうよ』の思いは、みんなの中につつと湧いていて、この日久しぶりに再会した仲間と共に、持てる力を発揮して本番をやりきった子どもたちの姿に感動しました。

壱岐に戻った直後、ふたりの子どもがインフルエンザに倒れるということまで起こりましたが、それも含め思い出に残る県フェスとなりました。』



壱岐子ども劇場 「まつり・鼓響」～和太鼓と竹楽器～

■ はさみ子ども劇場

「バレンタインはアルカスで！」を合言葉にはさみ子ども劇場は幼児から参加できるような内容で、今回はネコに扮したダンスに挑戦しました。小学生は2～3回でマスター。3歳児は衣装を付けてその場に居るだけで観客はくぎ付けです。問題は大人です。リズム感無し、物覚えは悪く、動きはかたくと不安でいっぱい。当日はなんとか3分間のステージを終えました。ロビーでは波佐見焼で財政活動。予想以上の売り上げで皆様のご協力に感謝です。

年に一度の県フェス。青年たちのエネルギーに心動かされ、年々内容も充実してきているように感じます。子どもたちの成長を感じた一日でした。



はさみ子ども劇場 ネコのダンス

■ 諫早子ども劇場

低学年は朗読スタイルのステージ「日本の四季～日本語の美しさを味わおう～」の発表にチャレンジ。どの作品を誰が読むかなど、子どもたちで話し合い決めました。練習を積み重ねていくうちに、互いに刺激し合い、より言葉を丁寧に朗読していくようになる様子は素敵な変化でした。本番では、照明も入り衣装をまといステージに立った子どもたちは堂々と詩を朗読。叙情豊かな日本の四季を届けることができました。

もう一つの発表は、青年と中・高校生のステージ。ワークショップで体験したパントマイムを取り入れてダンスにつなげる構成にしようとして盛り上がってのスタートでしたが、練習に全員がそろわなかったり、構成のアイデアも浮かばなかったり、断念しそうになることもありました。しかし、皆で話し合う時間をつくったり、練習に来られなかったメンバーに動画を送ったりなど工夫を凝らし、本番前日に全員そろって完成したときは感慨深いものがありました。メンバーの気持ちが伝わったのか、会場に大きな盛り上がりをつくることができました。当日に向けての時間の流れが宝物のように感じられた今年の県フェスでした。



諫早子ども劇場 日本の四季

■ ながさき子ども劇場

ながさき子ども劇場からは、乳幼児部クッキーが「はらぺこあおむし」、低学年が朗読劇「きつねのおきゃくさま」、青年が有志でダンスとドラマリーディングに取り組みました。

乳幼児部クッキーは「はらぺこあおむし」をモチーフに、卵からあおむし、そしてきれいなちょうちょうになるまでを表現しました。そのステージを飾ったのは、長崎へ里帰り中の劇場 OB・倉さん(美大出身2才児のママ)に講師をお願いして取り組んだ「アートであそぼ！ペイントワークショップ」の作品。はらぺこあおむしになった気分で10mの白い布にみんなで描いた絵、好きな色を落として作ったデカルコマニー(合わせ絵)のちょうちょう。素敵な出会いによるアート体験が繋がってできた表現発表は格別のものでした。

他の出演も、みんなで練習を重ねて迎えた本番は、さらに音楽や照明も加わり、会場の拍手をもらって、子どもも青年も大人たちも、生き生きとした笑顔が舞台上に輝いていました。



ながさき子ども劇場 乳幼児部クッキー「はらぺこあおむし」

子ども劇場 舞台鑑賞情報

★参加方法などについては各地の子ども劇場事務局までお問い合わせください。

そうぞうりよくのたね

OHオフィス

5月31日(火)10時30分開演

伊勢宮楠照殿

主催:ながさき子ども劇場

6月4日(土)10時30分開演

佐世保市民会館A室

主催:佐世保子ども劇場

6月5日(日)10時45分開演

西諫早公民館講堂

主催:諫早子ども劇場

妥協点P

劇団うりんこ(舞台劇)

9月17日(土)19時開演

メルカつきまち

主催:ながさき子ども劇場



ピアノカの魔術師

サウンドポケット(音楽)

9月20日(火)19時開演

諫早文化会館中ホール

主催:諫早子ども劇場

9月21日(水)19時開演

アルカスSASEBOリハーサル室

主催:佐世保子ども劇場

9月22日(木)18時30分開演

長崎ブリックホール国際会議場

主催:ながさき子ども劇場

NPO 法人
長崎県子ども劇場連絡会

〒850-0057
長崎市大黒町 4-26
北村第一ビル 302 号室

TEL: 095-825-0533
FAX: 095-825-6151
E-MAIL: n.kogeki@alto.ocn.ne.jp

県内子ども劇場

ながさき子ども劇場
TEL: 095-825-0533

佐世保子ども劇場
TEL: 0956-22-6747

諫早子ども劇場
TEL: 0957-23-5689

壱岐子ども劇場
TEL: 0920-44-5010

はさみ子ども劇場
TEL: 0956-85-4273

Web サイト

URL:

<http://www.nakogeki.sakura.ne.jp/>

発行

NPO 法人長崎県子ども劇場連絡会

★編集後記★

所得が真ん中の人の半分に満たない人の割合「相対的貧困率」でも、日本の子どもは6人に1人が貧困層。九州の貧困率はもっと高いという試算もあるようだ。すべての子どもに文化権を保障したいという思いはありながら、文化活動をしていくには、お金がかかる。今後の活動を考えるにあたって、さけては通れない課題である。貧困、虐待、自殺、いじめ...子どもの日の新聞の論調は子どもの現状を表している。そして、一千兆円を超える財政赤字や解決に膨大な時間のかかる原発問題。嘆いてばかりではなく、想像力を使って、どうしたら子どもたちの明るい未来につなげられるか、考え、行動しなければと自分に問いかけている。(N)

第18回定期総会 基調講演

舞台芸術を観ることで育つもの

～バーチャルじゃないホンモノの体験～

日時:6月10日(金) 10:00~12:00

講師:中島 研(国際児童演劇研究所所長)

会場:諫早市西諫早公民館 3階講座室

参加費: 500円(託児一人300円 要申込)

*定期総会は13:00~16:00 同会場



第21回祭典に向け発進!

今年の長崎県子ども舞台芸術祭典は、舞台劇や人形劇、アクロバットやジャグリングのパフォーマンスとバラエティー豊かな5作品。現在41の実行委員会が、44ステージの実施に向けて動き始めています。

団体概要

子どもの豊かな成長と地域の子どもの文化芸術振興に寄与することを目的に2003年にNPO法人として活動を開始しました。

長崎県内にある5つの子ども劇場や、子どもに関わる団体や個人の方とのつながりを大切にしながら、地域の文化活動を支援しています。

「長崎県子ども舞台芸術祭典」、
「長崎県子どもと文化フェスティバル」、講演会や学習会などの事業を行っています。

子どもに夢を!たくましく豊かな創造性を!
私たちは子どもの文化を応援します。

長崎角煮まんじゅう

 岩崎本舗

立石産婦人科医院

諫早市栄町 7-6
TEL0957-22-0292

 医療法人 藤島内科医院

〒854-0072 諫早市永昌町43-6
TEL 0957-25-2225
FAX 0957-25-2220

佐世保の中心、ビジネス&観光に。
セントラルホテル佐世保



〒857-0872 佐世保市上京町3番2号
Phone 0956-25-0001

0120-69-0511

一般
財団法人 長崎ロープウェイ・水族館

 長崎ペンギン水族館
Nagasaki Penguin Aquarium

 ダイハツタチバナ

有限会社 林田車体工業

〒854-0126 諫早市松里町288 TEL 23-5318 FAX 24-1378

ホテル周辺にはコンビニ・飲食店街あり。
全客室ネット接続無料! 有線LAN・Wi-Fi回線完備

 ホテル ウイング・ポート長崎

☎095-895-5774 JR長崎駅より徒歩3分
<http://www.wingport.com>

ホテル ジャノメ

諫早市永昌東町 1-39 [JR 諫早駅前]

TEL.0957-22-0529

FAX.0957-22-3181